

第5号様式(第7条関係)

会議録

会議の名称	令和6年度第3回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	令和6年12月11日(水) 午後2時～午後3時
開催場所	清須市役所 南館3階 大会議室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 (1) 健康日本21清須計画(第3次)素案 (2) 清須市自殺対策計画(第2次)素案 3. その他
会議資料	会議次第 資料1 清須市健康づくり推進協議会委員名簿 資料2 健康日本21清須計画(第3次)・清須市自殺対策計画(第2次)計画素案 資料3 健康日本21清須計画(第3次)及び清須市自殺対策計画(第2次)の策定に係るパブリック・コメントの実施について
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	1人
出席委員	加藤委員、近藤委員、塚崎委員、栗木委員、小川委員、時田委員、向山委員、伊藤委員、入山委員、南委員、小出委員、片山委員
欠席委員	山口委員、佐橋委員、清水委員
出席者 事務局	丹羽健康福祉部長 〔健康推進課〕古川次長兼課長、坂下課長補佐、岡田課長補佐兼感染症予防係長、西村健康づくり係長、風岡、青山 〔高齢福祉課〕加藤介護予防係長 〔こども家庭課〕鳥居母子保健係長 〔保険年金課〕三島健康増進係長
会議録署名委員	入山委員、塚崎委員
会議の経過	1. あいさつ 事務局：ただ今から令和6年度第3回清須市健康づくり推進協議会を開会いたします。 加藤会長：議事に入ります前に、本日の会議録の署名委員を指名させていただきたいと思 います。入山委員と塚崎委員にお願いしたいと思っておりますが、お願いできますで しょうか。 委員：はい。 加藤会長：ありがとうございます。では議事を進めさせていただきます。議事(1)につい て事務局より説明をお願いいたします。

2. 協議事項

(1) 健康日本21清須計画(第3次)素案について(事務局より、資料2を説明)

加藤会長：健康日本21清須計画(第3次)素案の基本理念も含めてということでしたが、ここで一度皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。向山委員は、地域で見守り隊も含めて高齢者の皆様のお世話を担っているところも多いと思います。外に出てコミュニケーションをとっていただいている方が一方、独居の方も含めて孤立してしまっている方が問題かなと思います。その辺りのコミュニティ、人と繋がることはやはり大事なことだと思いますが、心の健康等についてこうしていくと良いかなというご質問・ご意見等をお伺いしたいと思います。

向山委員：今回の理念で「すべて」という言葉が入ったということはすごいことだと思います。先ほどありましたように独居の高齢の方たちにも声をかけるようにしていると思います。私たちシルバーのメンバーは市で400名近くおりますが、心と体の健康を目的に地域貢献をしながら市や地域に最善を尽くして、喜びを感じているのが私たちのモットー。私たちが模範的な健康づくりをやらなくてはいけないと思っております。よく企画案や話が出てくるのですが、特定健診についてのいろいろなチラシが貼ってあったり届いたりして、いろいろな人に合うようにナッジ効果といいますか、こういったものを活用しながら、こちらに訴えられるような方法で工夫をしていただいて、本当にありがたいと思っております。特定健診についての新聞記事で、受診率向上へということでのこのナッジ効果を使った取り組みも効果が出ているということも聞いたので、特定健診に力を入れていただければありがたいと思っております。最後に質問ですが、ボランティア活動を促進するということは健康づくりにどのような影響があるかということをお教えいただければと思います。

加藤会長：最後の質問はどうか、市から意見があれば。

事務局：ご意見ありがとうございます。ボランティア活動による健康づくりへの影響は、ボランティア活動をする方自身も活動することで幸福感や動くことで健康に繋がると思います。またボランティアの方に関わりを持っていただくことで孤立している方が人と交流する機会を得られることで健康に繋がる活動になるのではないかと考えます。

加藤会長：私も人と繋がるボランティアなどの活動によってコミュニティの中で自分が役割を果たすこと、今委員がおっしゃったように社会に貢献し、広報のようなものが出ることも本当に助かっています。私が病院に行く時に見守り隊の方が子どもたちを見守ってくれていますが、子どもと接することもあると思いますし、自分のやりがいとだけ思っていたらより意味合いが大きい。それが健康で長生きにつながると思うので頑張りたいという気持ちがあります。

向山委員：ありがとうございます。またメンバーにも伝えておきます。

加藤会長：私も特定健診のことで、現状は24.5%で目標値50.0%ということですが、がん検診の受診率はどう思われますか。胃がん検診が2.9%であったり肺がん検診が

5.1%であったり。目標率が40%以上、50%以上になっていて目標値は大体決まりがあって、66ページで「疾病の発症予防と重症化予防の推進」、この辺りの目標は県や国の一つの指標のようなものがあるのでしょうか。

事務局：がん検診の受診率につきましては国の方で示されている統計の取り方は対象者人口に対して受診者数で計算しているものです。実際に市の検診以外でがん検診を受けられている方は市で把握できていないものですから、受診率はどうしても低い状況になってしまうということがあります。目標値が国・県の方で示されているものにつきましては国民生活基礎調査で受診されている方で目標値が設定されているものです。実際に受診されている方の統計を取ると高い数値にはなると思いますが、市については把握できていません。目標値を国・県に合わせている状況があります。

加藤会長：現状値の出し方もどこから出ているのかなど。受けるべき人がどうしているか。あと個別で受けている方もいて、評価するのが難しいですね。他にご意見よろしいでしょうか。社会福祉協議会代表の時田委員、社協の方で健康づくりを実施いただいていると思いますが、地域の健康づくりに対して数年思うように活動できなかった部分もあるかもしれませんが、現状で少し変化が出てきたところや新しい展開などがあれば教えていただきたいです。

時田委員：健康づくりについて社協の方では、コロナ禍は活動が一切できず、すべてストップという状況で一昨年前ぐらいから、地域において運動であれば健康体操。食事の面では社協で食生活改善推進協議会の方を呼んで、実践していくという地域づくりの中で対応しているところがございます。健康づくりの教室等協力をして地域の方へ勧めていきたいと思っております。

加藤会長：皆さんも外へ出る方にマイナスの方向になっていますが、イベントがあれば集まるように、少し変わってきますかね。

時田委員：地域の方でも活発な動きにはなってきておりますので、社協のボランティア団体の方も含んでイベントをしても参加人数が増えてきておりますので、その中で健康づくりもPRしていけば良いのかとは思っております。

加藤会長：前回の2次計画で私もCOPDのところ少し関与していましたが、活動が上向きになっているので、協力しながらやってもらえると良いと思います。では清須市自殺対策計画（第2次）素案についてのご説明をお願いします。

（2）清須市自殺対策計画（第2次）素案について（事務局より、資料2を説明）

加藤会長：清須市自殺対策計画（第2次）素案を説明していただきましたが、ご質問・ご意見等いかがでしょうか。小川委員お願いします。

小川委員：ただいま説明いただきました内容についてですが、国や県が自殺対策計画というテーマでないといけなかったのかということが少し引っかかっています。この計画の内容を聞かせていただいて「自殺」という言葉が非常に多くて、その前に自殺ではなくて困難な状況を抱えている人などが対策の方にはたくさん書い

てありますが、すべてが自殺対策のような表現になっていて、そうでなくてはいけなかったのかなと思いました。まず健康計画に医療機関の外来や入院の受診の疾患などが書いてある 54 ページに「性年齢別診療上位件数 5 疾病の状況」とあります。この中にも「精神及び行動の障害」がトップになっているものがあり、自殺以前にその課題などを挙げなくてはいけなかったのではないかと思います。自殺だけを減らすためということではなくて、心の病気の人をどうするのかをもう少し触れていただきたいと思います。自殺対策計画にも自殺対策と書いてありますが、内容的には心の病気の人などをどうするのが書いてありますが、この計画に衝撃的な表現が多いので、少し私には重いなという印象がありました。

加藤会長：そうですね。基本的にはメンタルヘルスの問題だと思います。そこを国が大きく健康日本 21 計画でメンタルケアなどではなく自殺対策計画を策定するものです。そこに従って県も市も計画を策定していますが、問題を見ると自殺する前の対策があるのではないかという意見ですよね。インプレッションだと思うのですが、こう書かざるを得ないことはわかるのですが、市からコメントいただければと思います。

事務局：今回の計画は健康計画と自殺対策計画が二部構成になっているのですが、一部につきましては健康計画というくくりで、二部は自殺対策計画です。心も健康も自殺に影響があると思うのですが、二部は自殺対策の計画になります。例えば 75 ページを見ていただきますと「2-6 リスクが高い対象群」の図表の 2-6 で、自殺される方の背景にあるものというところと心の病気もあるかもしれないのですが、そこに至るまでに失業や配置転換や職場の人間関係などが起因しています。心の健康に視点がいますが、社会的なところで健康推進課とは違う担当課が計画を策定している自治体もあります。本市のように健康計画と二部構成になっているところもありますが、清須市では健康計画と二部立てとさせていただいている状況があるのでご理解いただきたいと思います。

加藤会長：死ぬ前というイメージがありますよね。ただやはり目標として国が自殺死亡率を 30% 下げようとしている。数字で目標を立ててやるということを見て、テーマは違えどメンタルヘルスを考えているということで間違いのない状況だとは思いますが、ご意見ありがとうございます。

小川委員：54 ページの性年齢別の疾病のところ「精神及び行動の障害」がありますが、課題のところでは一切触れていません。このような形で特に問題がなければ良いのですが、そこが気になったところです。

加藤会長：そうですね、結構上位に挙がってくる項目ですね。おそらくこの項目は一つ別枠として自殺対策でまとめて一つの個別のテーマにしているイメージかもしれないですね。悪性新生物などは健康日本 21 の計画にして、メンタルヘルスに関しては自殺対策計画で一つ大きく取り上げている、非常に重要視点という形なのかと私は思います。他はご意見よろしいですか。健康日本 21 清須市計画

(第3次)、清須市自殺対策計画(第2次)でまとめてご質問・ご意見等ありましたら何でも良いです。伊藤委員お願いします。健康計画の中で塩分のことも含めて血压等も合わせて一部入っていますが、食生活改善推進員のお立場から何か一つ意見でもあれば教えてください。

伊藤委員：私たちが今力を入れていることが減塩。高血圧の方をできるだけ減らそうであったり塩分摂取をできるだけ少なくしてほしいということを絶えず啓発しております。最近野菜も摂りましょうということもやっています。社会全体で摂取の量を増やそうということを聞きますが、なかなかまだ足りない状況だということ友達が言っています。どこからアンケートやデータが出ているのかということが私たちも不思議で、愛知県は野菜をたくさん作って食べている雰囲気があるのですが、何でもそうですがデータが出てしまうとすごく少ないデータが出てくるのが不思議で、どこから出ているのかなといつも感じております。

加藤会長：そうですね。日本の食生活は生活習慣病の中で高血圧は多いので塩分制限が必要だと思うのですが、他の生活習慣病だと例えば糖尿病、脂質異常などがありますが、食べる回数を患者さんにきくと「少ない方が良くから食事は2回にした方が良いですか」などの質問がふんだんにある状況で、どうですか、「一般的にいう健康的な食事というものはこういうものだ」ということはありますか。

伊藤委員：3食しっかり食べましょうということを私たちが今一番一生懸命やっていますが、やはり年代によっては、朝は食べなかったり、特に若い女性などは太ると嫌だから痩せるということで減らしていく感じもありますので、どの対象に啓発していったら良いのかということはあると思いますが、世間でよく言われることをできるだけ私たちも地域の方たちに啓発するということを主にやっています。

加藤会長：健康づくりリーダー代表の入山委員。地域の健康づくりは運動教室などもご指導いただいていると思い、昨今の状況等々思うこともたくさんあるかと思えます。

入山委員：超高齢化になってきまして、教室をやっているところへ通う手段がなくなりつつあり、たくさん教室があってもそこまで行く手立てがないとよく聞きます。もう一つは相対的に見て、私も含めてですけども、高齢者の仲間ですので、今後の後継者をどのように育成していくかが大きな課題となってくるのではないかと思います。

加藤会長：そうですね。次の世代にということがありますよね。

入山委員：そういう点では後継者をどのように育成していったら良いのか、今後の健康づくりを皆さんと一緒に考えていけたら良いなと思います。WHOでも健康とはということいろいろ謳われておりますけれど、そういうことももっと市民の方々に広く浸透していただけると良いなと思います。

加藤会長：やはりご参加いただく方で次の年代が後を継いでいってもらえることが一番良いでしょうね。

入山委員：参加者も少しずつ減る傾向が見られます。市の方でもいろいろな活動、講演会

などをやっていただいておりますが、そこまで通う足がなかなかなく、難しいということは伝えておきます。

加藤会長：続きまして母子保健推進員代表南委員。子どもを取り囲む環境や家族への支援等々はコロナの時期はアドバイスなどなかなか難しかったと思いますが、環境が変わってきて、現在工夫してみえることや今後の展開など何かありますか。

南 委員：母子保健に関しましては、今年の4月からおむつ券を発行するという事で5,000円分を年に2回配付する赤ちゃん訪問をしています。コロナ禍は訪問もポスティングになった時期もありました。おむつ券があることでお家の中へ入り、お母さんが育てている環境や、子育てする時に状況を見てしんどそうか、楽しんでいるか、子育て中の悩みがあるかなどがわかるようになりました。情報はインターネットで調べられるので、こちらからのアドバイスは聞かれたらできますけれど、お母さんたちはしっかりされているという感じです。

加藤会長：子ども会代表の小出委員お願いします。子どもたちと接する中で今後こうしていったら良いなどご意見があれば参考にさせていただきたいと思います。

小出委員：子ども会代表で出席させていただいていますが、70歳も過ぎて高齢者です。75ページに関心があり、グラフを見ると女性の自殺死亡率がすごく高いですね。下の表を見るとうつ病が非常に多そうです。これを対策するには、子ども会とお年寄りの寿会など、何か地域の公会堂を使って小さな運動会であったり、ゲームをしたり、昔の遊びをしたりして子どもの元気な姿と、お年寄りには体がだんだん弱くなっていくので、室内でできることをともにやれると良いかなと思いました。

加藤会長：繋がりやはり大事ですね。見守り隊のこともお話ししましたが、子どもたちと繋がって面倒も見つつ、自分のやりがいを感じるような繋がりやタイミングができることが、一つ必要になるのかなと私も思います。市民代表でスポーツ推進委員の片山委員。一言お願いします。

片山委員：入山委員の、お年寄りが会場まで行く足がないということを伺いまして、スポーツに関する件ですが、お年寄りに関しては小学校など結構距離はあると思います。来年や将来、出前の教室のような小ぢんまりとした、地域の福祉センターなどへ出前に行って20～30人ぐらいの教室をやれたらなと思いました。

加藤会長：迎えに行くことは厳しいから、徒歩で行けることは大事ですね。

片山委員：徒歩で行ける所も考えていきたいと思っております。

加藤会長：薬剤師会の塚崎委員。依然として薬が足りないなど、前回は睡眠薬のお話をいただきましたが、一般的に薬剤師会の立場からということで何かご意見いただければと思います。

塚崎委員：薬剤師会としては皆さんの健康に直結するお薬のことを扱っていますので、今力を入れていることはまずはかかりつけ薬剤師、薬局を持っていただきたいということです。電子処方せんというシステムが医療現場では始まりつつあり、リアルタイムで今持っている薬が薬局や病院などでわかるようになります。リ

アルタイムでわかる情報なのでそれが浸透していくと、どこの地域、どこの病院、どこの薬局でもその情報はわかるので、よりかかりつけ薬局や薬剤師の存在意義は上がってきますし、いろいろと相談できることを意識して啓発できればと思っています。

加藤会長：近藤先生、よろしくお願いします。

近藤委員：健康日本2 1 清須計画（第3次）に関して思ったことは、18 ページや19 ページをご覧くださいとわかりますが、第2次の中間評価があって、現状値や最終評価に評価不能と書いてあります。第2次でたばこの話、受動喫煙防止の対策活動をして、評価不能。確かにコロナがあったので評価不能で、第3次からは評価はやらなくて良いのですね。65 ページでは消したということですね。あと、19 ページの「糖尿病による年間新規透析導入者の割合の増加の抑制」も評価不能と書いてあります。これもなくしてしまうのですね。67 ページでは新しい項目ということですか。たばこの話で、42 ページでは18 ページにあった④をなくしてしまい、重症化予防の目標値のところ、56 ページに書いてあることが全く新しいことになっています。第3次はそれでよろしいということですね。

事務局：まず19 ページの糖尿病の方の「年間新規透析導入者の割合の増加の抑制」の評価不能ですが、こちらは数値が国からも出ていないという状況がありまして評価不能とさせていただいております。

近藤委員：64 ページの「4 若い頃からの介護予防の推進」の④も消えていますよね。あと、67 ページで④として新しく「糖尿病性腎症が原因である透析導入患者の割合の減少」が57.7%、これが新しい。前回もそういう話をしておられましたから、それでよろしいかと思えます。また自殺の話でもありましたが、先ほどの75 ページの話で女性が自殺されるというところで2-5の図表で清須市と全国平均を見ると清須市の方が断然多くなっているところがあると。それに沿った策定だと思っているので、それでよろしいかとは思っております。先ほどの障がい者については、清須市の障がい者の福祉計画策定もしておりますし、介護・高齢者に向けても別の担当課でしているものですから、ここには載ってきていないという話でよろしいですか。これでパブリックコメントでご意見をいただいて、計画を策定してほしいと思っております。以上です。

加藤会長：先生からのご意見はおそらく過去に取っていただいたデータを継続して取るかどうかというところかなと思いましたが、COPD は死亡率を下げる。死亡率を下げることでこれは大事なことだと思うのですが、例えば今までも認知度の向上で第2次では取っていただいていたのですが、今後も続けていただく形ではできるのでしょうか。アンケートなどでCOPD は聞いたことがあるなど、そういうものはなくなってしまうのですね。

事務局：今回アンケートで取らせていただいているのですが、次回からはその項目については代わりにCOPDの死亡率というところで考えておりましたが、認知度についてもですか。

加藤会長：認知度は木洩れ陽の先生が、認知度の向上が COPD の死亡率を下げることに繋がるためにやはり認知度は大事なかなと試してみえたので、もし可能だったら認知度を出してもらいたいです。続けていってどうなっていくかというケースは他のところもそうなのです。取れる項目でアンケートに入れられるものがあれば削除するのではなくて、継続できるものが簡単にアンケートで取れるのであれば近藤先生の意見と私も同意見です。

事務局：国の指標で COPD の認知度が外れていたの国や県などとの比較対象がないということで今回は外させていただいたという理由があります。前回の中間評価の時は 55.0%と 19 ページに書いてあるのですが、現在 51.9%というところで評価はさせていただいています。

加藤会長：市独自で何とか認知度を取ってほしいです。

事務局：42 ページの目標指標に認知度を同じように載せるということでしょうか。

加藤会長：目標値はいらなくて、認知度をはかってもらうだけでも良いです。死亡率を下げれば良いので、このアンケートで認知度だけが何%か追うことはできますか。

事務局：認知度が 6 年後の中間評価の時になるものですから、ここに書かないと忘れてしまう可能性があります。

加藤会長：ぜひ続けて取ってほしいです。

南 委員：今は携帯でもタバコを吸うか吸わないかのアンケートを取っているのですね。

加藤会長：できれば COPD の認知度は清須市だけでも続けたいです。認知率が上がってきたら死亡率が下がると思うので。

事務局：計画で評価していくということでしたら、目標指標に入れておかないと 6 年後にアンケート項目として忘れてしまう可能性があるの、目標指標に入れさせていただいて、目標値は増加のような形の方向で検討させていただくということをお願いします。

加藤会長：バックアップは必ずします。

事務局：栗木委員も国や県の指標のないものについてどう考えてよいかご助言お願いできませんか。

栗木委員：この計画自体は国や県に沿ってやれるのでそのような形になります。COPD は前回のデータから認知度が上がってきたので、今度は具体的な死亡率に変えるという話でしたが、簡単に言うと評価もそこに挙げなくても良くて、アンケートだけに入れて、参考でこのような結果が出ていますというぐらいで良いと思います。項目に挙げて差し支えなければ挙げれば良いし、アンケートだけ続くように引き継いでいくということはどうでしょうか。

事務局：では引き継ぐか載せるかはまた検討させていただいて、アンケートは取れるような形で。COPD については認知度を上げていくような事業は推進させていただきたいと思います。

COPD について、どのように掲載させていただくか否かということについては、事務局の方で一度検討させていただいて、まず会長に回答を出させていただき、

その回答を委員にも方向性をお示しさせていただきまして、それを反映させたものをパブリックコメントの資料として公表させていただきますという事でよろしいでしょうか。

委員：はい。

加藤会長：では、これで事務局にマイクを戻したいと思います。

(3) その他

事務局：パブリックコメントの実施について（事務局より、資料3を説明）

加藤会長：ではこれで議題は終わりです。

事務局：皆様大変貴重なご意見・ご提案ありがとうございました。本日のご意見検討事項につきましては素案にできる限り反映させていただき、市民の皆様の意見をパブリックコメントでお伺いしていきますのでよろしくお願いいたします。また、本日いろいろな小さな訂正箇所についてもご意見いただいている方もおりますので、こちらも反映させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。次回の会議は2月12日（水）、場所は会場を移らせていただきまして市役所北館の2階第1・第2会議室を予定しております。今年度4回目の最終の会議になりますので、計画のご承認をいただくこととさせていただきますのでよろしくお願いいたします。お忙しいところ恐縮ですがご予定になりますようによろしくお願いいたします。また、この素案につきまして気になる点がございましたら今週中、12月13日（金）までに事務局の方にご意見いただきますようよろしくお願いいたします。それでは本日の議事はすべて終了いたしました。これを持ちまして、令和6年度第3回清須市健康づくり推進協議会を閉会いたします。長時間にわたりましてご協力ありがとうございました。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

令和6年12月11日 署名委員 入山 八三郎

令和6年12月11日 署名委員 塚崎 啓充

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線2014・2050